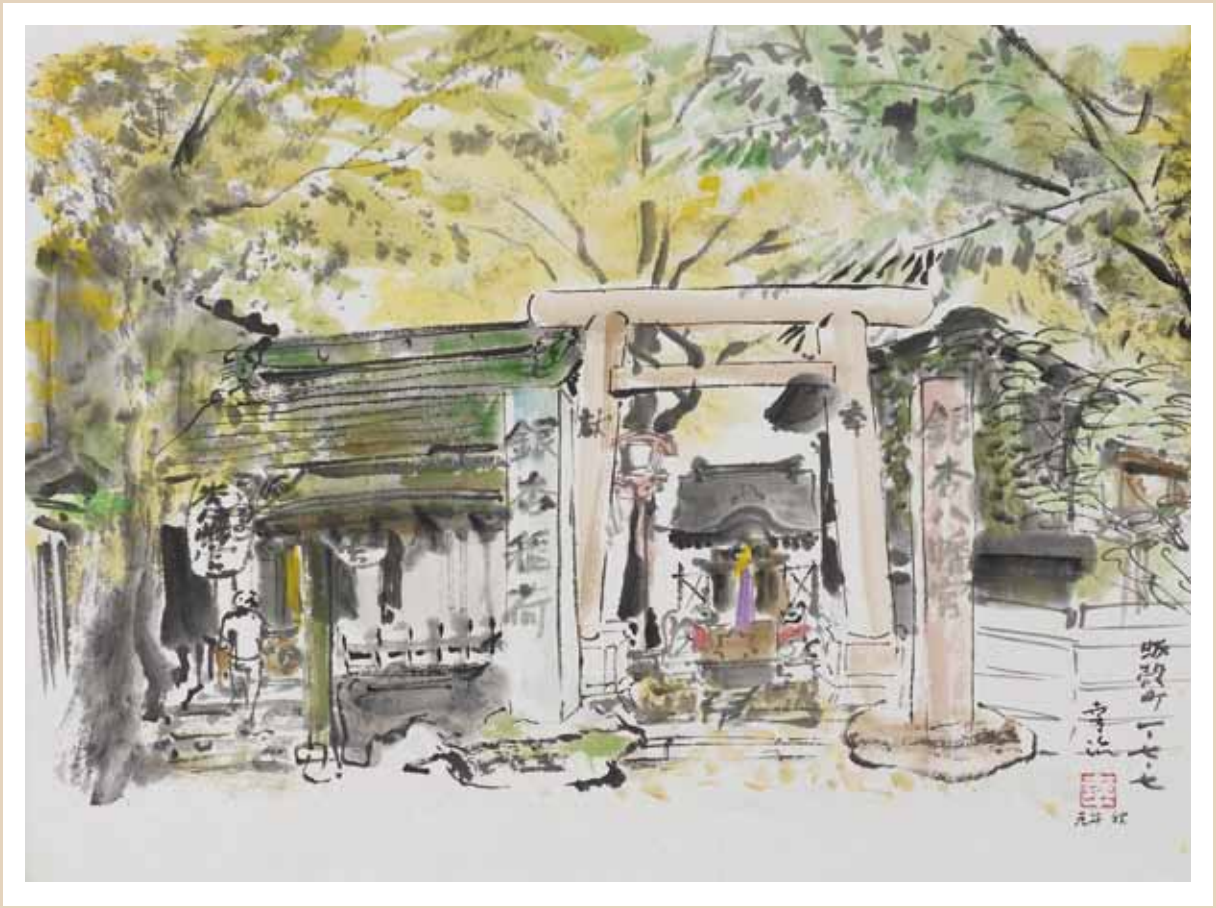
中央区文化・国際交流振興協会だより

Chuo Cultural And International Exchange Association



「銀杏稲荷」（1989）小川幸治　中央区郷土天文館所蔵

● 特集 ●

文化講座　「平家物語」

鶴田流　薩摩琵琶奏者　岩佐鶴丈

- 中央区まるごとミュージアム 2013
- 平成 24 年度の事業報告と決算
- 国際交流のつどい 2013

No.60 December 2013

中央区文化・国際交流振興協会発行

文化講座

平家物語

鶴田流　薩摩琵琶奏者
岩佐鶴丈



岩佐鶴丈　プロフィール
１９７６年鶴田錦史氏に師事。１９９５年樂琵琶を宮内庁式部職学部・山田清彦氏に師事。国内外での演奏会の他、黒澤明監督「夢」、角川春樹監督「天と地と」にも音楽参加。古典曲。現代曲の演奏活動からレコーディング、テレビ、映画などで活躍中。

私は昨年（平成二十四年）、「中央区文化・国際交流振興協会」主催の文化講座「平家物語」に琵琶の演奏で出演させて頂きました。

そして今回、その講座の内容を踏まえた文章をという事で、私の専門である琵琶に関する事を中心に書いてみたいと思います。

平家物語はもともと琵琶という楽器を伴奏として語る、語り物音楽の詞章でもありました。そして、琵琶を弾き、語る盲目の琵琶法師達によって、平家物語は字の読めない一般大衆にも広く浸透していきました。その琵琶法師達の語る平家物語を「平家琵琶」あるいは「平曲」と呼んでいますが、平家琵琶が出来る以前にも琵琶法師は存在していました。平安時代には、いわゆる吟遊詩人のように、琵琶を弾き、長編の叙事詩を歌い諸国を巡っていました。

それでは、琵琶という楽器はいつ頃からあったのか、どのような種類の琵琶があるのか、歴史を追って触れてみたいと思います。

日本に入ってきた二種類の琵琶

琵琶という楽器は日本固有の楽器だと思っている方もいらっしゃるかもしれませんが、そうではありません。およそ千三百年ほど前に、中国大陸から伝来した外来の楽器です。また、種類も一種類ではなく、別のルートで二種類の琵琶が入って来たと考えられています。その一つは雅楽で使われる「楽琵琶」、もう一つは「盲僧琵琶」で、これは後の「平家琵琶」、「薩摩琵琶」、「筑前琵琶」のルーツとなる琵琶です。

樂琵琶

楽琵琶は今からおよそ千三百年前、奈良時代に雅楽の演奏楽器として中国大陸から日本に入って来ました。そのルーツをたどると古代ペルシャ（イラン）のバルバットといわれています。それがアラブのウードになり、シルクロードを経て中国に伝わり、琵琶（ピパ）という楽器になります。そして日本に伝わったのです。そのバルバット、ウードが西へ伝わるとリュードやギターという楽器になります。日本の琵琶もギターもルーツは同じだということになります。シルクロードの東の終着点である正倉院の宝物には数面の楽琵琶が残されていますが、その形は現在雅楽で使われている琵琶とまったく同じ形をしています。日本では千年以上形を変えずに使われてきていますが、中国では、改良に改良を重ね、たとえば柱（フレット）の数は四柱から三十六柱に、弦は絹の弦からスチール弦に変わっています。そしてバチは使用せず、指でフラメンコギターの様に弾く奏法になっています。日本と中国との国民性の違いでしょうか？

さて、雅楽は貴族社会、すなわち支配者階級の人々を中心に行われていた音楽ですが、それゆえ楽琵琶に関する資料は



数多く残されています。中でも、承和五年（八三九年）に遣唐使として入唐した藤原貞敏が、かの国の琵琶の名手、廉承武に琵琶の三秘曲「流水」、「啄木」、「楊真操」を伝授され、また琵琶の名器「玄象」、「青山」を贈られて帰国したという話は有名で、その貞敏の伝えた秘曲と名器は、その後さまざまな悲喜こもごもの伝説や逸話を生み出しました。

平家物語の中にも、楽琵琶の名手として平経正の記述があります。経正は音楽の才能を買われ、覚性法親王より貞敏が唐より持ち帰った名器「青山」を賜ります。しかし、都落ちの際には、仁和寺に覚性法親王の弟、守覚法親王を訪ね「青山」を返上するという件があります。また、戦勝祈願のため、琵琶湖の竹生嶋に詣で、神前に琵琶の秘曲「石上流石」を弾ずると、竹生嶋明神が、袖の上を白竜となって現われたという記述もありますが、その様な情景を平家物語を語った琵琶法師達はどの様に表現したのか、同じ琵琶弾きとしてはとても気になる所でもあります。さて、楽琵琶は平安時代には、独奏楽器としても盛んに演奏されていました（平安時代に書かれた琵琶譜が残されています）が、現在は、独奏曲は伝承が途絶えてしまい、まったく演奏されなくなってしまいました。楽琵琶の演奏は、雅楽の管弦合奏の中で拍の頭にバラランとアルペジオを弾く程度の地味な存在となってしまいましたが、音色はとても魅力的で、まさに悠久の響きを今に聞かせてくれています。

盲僧琵琶

盲僧とは盲目の僧侶という意味です。楽琵琶とは違ったもう一つのルートとして中央アジアを経て、唐の時代の初期に、中国南部から僧らによって九州に渡ってきたとされています。後に「盲僧琵琶」として、九州各地に広まっていきます。盲僧琵琶は楽琵琶とは違い、民間に広まった琵琶ですので、残された資料は多くありません。したがって、日本に入って来た時代も楽琵琶ほど正確ではないようです。民間に広まったといいましても、現在のように一般人が趣味として演奏するという事は考えられず、あくまで盲僧達の専門の職業として存在していました。盲僧琵琶は、はじめは琵琶を弾きながらお経を唱えるという宗教的要素が強いものでしたが、だんだんストーリー性のある詞に節を付けて演奏するようになっていきます。それこそが、語り物音楽である琵琶のルーツであり。他の声の文化のルーツといっても過言ではないと思います。

平家琵琶

徒然草では、信濃前司行長が平家物語を作って琵琶法師の生仏に語らせたとあります。音楽的には、盲僧琵琶の他に、仏教の声明、そして雅楽からの影響があると考えられます。楽器はそれまでの盲僧琵琶は使用されず、楽琵琶を一回りぐらい小さくしたような楽器を使用しています。鎌倉時代には、琵琶法師の中に平家物語を専門に演奏する人が現れ、室町時代には大流行します。

薩摩琵琶・筑前琵琶

現在演奏され、聞く事の出来る琵琶のほとんどは、薩摩琵琶と筑前琵琶といっていいでしょう。薩摩琵琶は室町末期に、それまであった薩摩盲僧琵琶を改良して、薩摩藩主の島津忠良が武家の子弟の教育のために道徳的な内容の琵琶歌を作りました。以来薩摩では薩摩琵琶が愛好され、次第に勇壮な内容を持つ語りに発展しました。楽器は四弦四柱で、近年は改良された五弦五柱の琵琶も使われています。（私は、この五弦五柱の琵琶を使っている鶴田流に属しています）

筑前琵琶は、明治中期に、それまであった筑前盲僧琵琶を改良し、薩摩琵琶や三味線などの手法を取り入れ、新たな琵琶楽を作りました。

近年は、弾き語りの演奏から、楽器だけの演奏も試みられるようになりました。作曲家の武満徹は「ノヴェンバーステップス」という曲で、オーケストラと琵琶と尺八を大胆な形で融合させています。その曲は世界各地で演奏され好評を博しています。

最後に、文化講座のテーマである平家物語は平家琵琶の台本という側面もありますが、薩摩琵琶や筑前琵琶、そして語りや芝居などの重要な題材でもあります。日本人の心の中にある「哀れ」や「無常感」を呼び起こす一大叙事詩平家物語はいつも琵琶の音色とともにありました。

中央区まるごとミュージアム　2013
11月4日（月・振替休日）

11月4日に第6回「中央区まるごとミュージアム2013」が開催されました。中央区と中央区文化・国際交流振興協会の共催で行なわれる本企画は、無料のバスや船で区内を回遊しながら、多彩な文化施設やイベントをお楽しみいただく、秋の風物詩。31のイベントが開催された今年も、老若男女6万人以上が集い、大盛況のうちに幕を閉じました。ご参加いただいた皆様、文化事業者や団体、ボランティアの皆様、ご協賛各社様に、心より御礼申し上げます。
今年初開催となった「中央区まるごとフェスタ」をはじめ、当日の様子を本誌記者がレポートいたします。



1603年、徳川家康が江戸に幕府を開いてから今年で410年。中央区は、江戸東京の中心として歴史を刻みながら、さまざまな文化、商業、情報を発信し続けてきました。今年は無料周遊バスに中央区観光協会特派員が同乗され、中央区の見どころなど楽しいガイド付きでスタートです。



「薬研堀不動院」は“講談”発祥の地。オフィスビルの間に伸びる階段を上ったお堂で行なわれていたのは、講談会。声優としても活躍する講談師・一龍斎貞友さんの流暢な語りが響きます。お堂の外では、名物の七味唐辛子を先着プレゼントしてくれる粋な計らいもありました。

“人力車”発祥の地、人形町の甘酒横丁界隈で行なわれていたのは、人力車に乗っての街並み散策＆記念撮影。8台の車が出るも、大人気につき行列必死の順番待ち。混雑具合などは、携帯電話でもアクセスできる情報サービスTwitter（ツイッター）で随時発信されているので、チェックしながらイベント巡りのコースを考える際に便利です。各会場で配布されているイベントガイドには、バスや船のルート、全イベント会場が書き込まれた地図があり、皆、ガイドを片手に街を行き交っています。



小回りが嬉しいお馴染みの「江戸バス」も、この日は無料。我々もさっそく乗り込み、目指すは「箱崎防災船着場」です。

船着場には「ヘブンアーティスト」のアーティスト、“人間ジュークBOX”ことタカパーチさんが30曲以上の豊富なレパートリーから、リクエストにあわせてトランペットを演奏してくれました。軽快なラッパの音に見送られながら、船は晴海の「朝潮運河船着場」へ向けて出航。5つの橋をくぐりながら進む45分間の船



旅です。左右頭上に次々と現れる名所旧跡を、リバーガイドさんが丁寧に説明してくれ、新しい発見がいっぱい。見慣れた街並みを水辺から眺める楽しいひとときが、あっという間に過ぎていきます。





さて、晴海トリトンスクエアで開催されていたのは、今年初開催となる「中央区まるごとフェスタ」！　中央区が“発祥の店”である、あんみつ、いなり寿司、お子様ランチなどがズラリと並ぶ「食文化体験ゾーン」では、はやくも売り切れ続出です。「中央区アンテナショップまるごと体験」ブースでは各県の名産品が一度に手に入り、ちょっとした小旅行気分を満喫。買い物をしていると、スペシャルステージには、なんとご当地キャラクター、福島県の八重たん、茨城県のハッスル黄門、群馬県のぐんまちゃんが登場。子供も大人も大興奮でした。水辺の遊歩道には、８万本のバラの花びらで彩られた花のじゅうたんが広がり、高所観覧車から全景を見下ろす人達からは、歓声が上がっていました。



賑わう会場を後に、イベント周遊バスに乗り込んで、次なるお目当ては、「リリ・レイが贈る フランス原語シャンソンコンサート」と「プラネタリウムまるごと投影」です。移動中、クラシックカー展示などが開催されていた「晴海 Autumn Festival」を眺めつつ、７年後この晴海界隈に誕生する東京オリンピック選手村に思いを馳せ、これからの街の変化にもワクワク。アンテナショップで買ったおやつを頬張りながら、遠足気分で街を抜けていきます。タイドーム明石で、情熱的なシャンソンのステージ、幻想的なプラネタリウムの世界をたっぷり楽しんで外に出ると、もうすっかり日が暮れていました。



この日最後のお楽しみは、美しくライトアップされた文化財「三井本館」「三越本店」を背景に野外で繰り広げられる、イタリア歌曲の「日本橋・江戸桜通り演奏会」です。荘厳な建築・街路の隅々にまで響き渡る、テノール歌手ステファノ・ロドラ氏の美声。一夜限り、ロマンチックなステージに誰もがうっとり…。



中央区の奥深い歴史と和洋豊かな文化の数々を、まるごと堪能した１日となりました。

平成 24 年度の事業報告と決算

平成 24 年度事業報告

平成 25 年 7 月 8 日に開催されました理事会において、平成 24 年度の事業報告並びに収支決算が審議され、承認されましたのでその概要を報告します。

Ⅰ　文化振興事業

（1）機関誌の発行

「中央区文化･国際交流振興協会だより」を発行。

発行部数　5，500部　A4版

発行回数　年2回（7月―57号、12月―58号）

（2）ホームページの運営

ホームページを適宜更新して、事業紹介やイベント等の情報を提供しています。

URL:http://www.chuo－ci.jp/

（3）コンサートの開催

親しみやすい音楽鑑賞の機会を提供しました。

日　　時　10月5日（金）午後6時40分開演
会　　場　日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」
内　　容　ジャズ演奏「ジャズ！ジャズ！ジャズ！」
出 演 者　前田憲男＆ウィンドブレイカーズ、ゲスト雪村いづみ
入 場 者　383 名
参 加 費　1,500 円



（4）文化講座の開催

ＮＰＯ法人「原典『平家物語』を聴く会」の協力により琵琶演奏や語り芝居を交えながら、平家物語について学ぶ講座を開催しました。

第一部　講義「平家物語における平清盛の役割」－映像上映・琵琶演奏－

日　　時　平成 24 年 9 月 7 日（金）
昼の回　午後 2 時～ 3 時 30 分
夜の回　午後 6 時 30 分～ 8 時
内　　容　•映像上映「祇園精舎」「西光被斬」
•琵琶演奏「那須与一」他
講　　師　NPO 法人　原典「平家物語」を聴く会　代表　橘　幸治郎　他



第二部　「語り芝居と琵琶演奏で楽しむ平家物語」

日　　時　平成 24 年 9 月 14 日（金）
昼の回　午後 2 時～ 3 時 30 分
夜の回　午後 6 時 30 分～ 8 時
内　　容　•上演章段の解説
•語り芝居「小教訓」「敦盛最後」
•琵琶演奏「壇ノ浦」他
講　　師　NPO 法人　原典「平家物語」を聴く会　代表　橘　幸治郎　他
会　　場　日本橋社会教育会館　ホール
参加者数　延 588 名

（5）特別文化講演会の開催

各展覧会に関連し、NHK との共催により開催しました。

①「大英博物館　古代エジプト展」関連文化講演会

日　　時　平成 24 年 7 月 12 日（木）
午後 7 時～
会　　場　日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」
講　　師　古代エジプト壁画研究家（古代オリエント博物館自由学校講師）
村治　笙子
参 加 者　357 名

②特別展「美術にぶるっ！ベストセレクション　日本近代美術の１００年」関連文化講演会

日　　時　平成 24 年 10 月 9 日（火）
午後 7 時～
会　　場　日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」
講　　師　東京国立近代美術館　企画課長
中林　和雄
参 加 者　341 名

③「エル・グレコ展」関連文化講演会

日　　時　平成 25 年 1 月 25 日（金）
午後 7 時～
会　　場　日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」
講　　師　国立西洋美術館　研究員　川瀬　佑介
参 加 者　383 名

（6）古典芸能鑑賞会

中央区に深い関わりを持つ古典芸能を鑑賞する機会を提供し、地域文化に対する愛着心を育み、伝統芸能の継承・普及を図りました。

日　　時　平成 24 年 6 月 16 日（土）
午後 5 時開演
会　　場　日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」
内　　容　講話「江と江戸城大奥秘話」
紙切り
落語　「おたのしみ」
長唄演奏　「都鳥」
舞踊　清元　「神田祭」
入 場 者　346 名
参 加 費　2,000 円（中学生以下 1,000 円）



（7）文化推進事業助成

区民が主体となって行う文化振興事業の後援及びその事業の実施に要する経費の一部を助成しました。

件　　数　後援 19 件（うち助成 15 件）

（8）中央区まるごとミュージアムの開催

文化・芸術の秋の 1 日に、区民等がパンフレット等を手にバスや船で回遊しながら、中央区のさまざまな文化的な魅力を楽しみ享受できる文化イベント（第 5 回）を中央区との共催で開催しました。

日　　時　11 月 4 日（日）
場　　所　中央区全域
実施結果
①バス乗車人数（区内巡回左右 2 ルート、江戸バス）　合計 5,948 名
②乗船人数（日本橋周遊、箱崎～晴海、明石町周遊の 3 ルート）　合計 3,900 名
③参加者アンケート　2,887 名
④主なイベントの参加人数　延べ 65,000 名

（9）文化振興プロデュースチーム

中央区文化振興プランの提言に基づき、区民（企業、NPO 等を含む）の自主的な文化活動の推進・拡大を図るため、平成 20 年度に文化の専門家等からなるプロデュースチーム（構成員６名）を設置しました。

今年度は、まるごとミュージアム 2012 の事業者連絡会に出席し意見を述べるとともに、中央区全体の文化事業の推進について協議を進めました。

Ⅱ　国際交流振興事業

（1）国際交流のつどい

外国人と日本人との文化交流の促進と相互理解を深めるため、日本と外国の伝統文化の紹介や体験、踊り、料理の紹介等を通して相互の親交を深めました。

日　　時　平成 24 年 11 月 17 日（土）
正午～午後 4 時
会　　場　築地社会教育会館
内　　容
○伝統文化体験コーナー（着付け、茶道、生け花、墨絵、風呂敷、和太鼓ワークショップ、折り紙）
○懇談コーナー（スリランカカレー、スリランカティー、けんちん雑煮）
○国際交流広場（来場者との交流、国際交流サロンの紹介）
○スリランカ楽しむＤＡＹ（スリランカサリー展示・試着、シンハラ語の紹介等）
○防災・防犯コーナー（非常食試食、防犯・防災情報提供）
○日本・外国の遊び
○日本語何でも相談
○踊りのコーナー（スリランカダンス、盆踊り、フォークダンス）
○受付・情報資料提供コーナー
参 加 者　425 名（外国人 124 名、日本人 122 名、ボランティア等 179 名）



（2）国際交流サロンの開催

外国人と日本人が気軽に交流ができ、日本語の会話や日本の文化に触れることが出来る場を提供するため、ボランティアの協力を得て「国際交流サロン」を年 11 回、土曜日に開催しました。

会　　場　協会講習室　他
内　　容　ぬりえ、こどもの日、もんじゃ、七夕祭り、墨絵に挑戦、ピラティス・アロマ・リフレクソロジー体験、ハロウィン等
参 加 者　外国人延 119 名、日本人延 119 名、ボランティア延 110 名



(3) 日本語教室

区内在住・在勤の外国人を対象として、協会ボランティアによる日本語の指導と学習者との親睦を図るための交流会を開催しました。また、教室参加希望者の増加や多様化する要望に対応するため、ボランティア主催による教室の開設・運営について支援を行いました。

協会主催の日本語教室

①水曜日教室
日　　時　毎月第１・第２・第３水曜日　午後６時30分～８時
会　　場　女性センター「ブーケ21」
実施回数　31回
登録者数　外国人56名、ボランティア27名
参加者数　外国人延505名、ボランティア延608名

②木曜日教室
日　　時　毎月第１・第２・第３木曜日　午前10時～11時45分
会　　場　協会講習室
実施回数　31回
登録者数　外国人37名、ボランティア16名
参加者数　外国人延416名、ボランティア延401名

③土曜日教室
日　　時　毎月第２・第３・第４土曜日　午前10時～正午
会　　場　協会講習室
実施回数　33回
登録者数　外国人57名、ボランティア22名
参加者数　外国人延490名、ボランティア延461名



協会が支援する日本語教室

①ワールドフレンズ日曜にほんごクラブ（平成24年11月18日開設）
日　　時　毎週日曜日　午前10時～12時
会　　場　日本橋社会教育会館
実施回数　18回
登録者数　外国人７名、ボランティア５名
参加者数　外国人延46名、ボランティア延54名

②日本語おたすけたい
日　　時　月曜日（月３回）　午後７時～８時30分
会　　場　日本橋社会教育会館
実施回数　32回
登録者数　外国人15名、ボランティア11名
参加者数　外国人延156名、ボランティア延212名

③月島日本語倶楽部
日　　時　毎週火曜日　午前10時～12時
会　　場　月島社会教育会館
実施回数　46回
登録者数　外国人11名、ボランティア９名
参加者数　外国人延271名、ボランティア延237名

④日本語コミュニケーション・パートナー
日　　時　毎月第１・第２・第３火曜日　午後７時～８時30分
会　　場　新富区民館
実施回数　35回
登録者数　外国人12名、ボランティア10名
参加者数　外国人延112名、ボランティア延173名

⑤銀座日本語教室
日　　時　毎月第１・第２・第３水曜日　午前10時～11時30分
会　　場　築地社会教育会館
実施回数　37回
登録者数　外国人10名、ボランティア７名
参加者数　外国人延130名、ボランティア延173名

⑥にほんご生活
日　　時　毎週土曜日　午後２時～３時45分
会　　場　レインボーハウス明石
実施回数　48回
登録者数　外国人15名、ボランティア14名
参加者数　外国人延546名、ボランティア延327名

(4) 日本語指導者養成講座

日本語教室への受講希望者の増加や多様化する要望に対応するため、協会主催の日本語教室やボランティアが自主的に運営する日本語教室で指導者になりたい方、または、ボランティア日本語教室を自分で開設・運営したい方を対象に日本語指導者養成講座を開催しました。

実施日　平成24年７月～９月　全10回（20時間）
受講者　32名
講　　師　西川 寛之（明海大学外国語学部講師）
場　　所　協会講習室、新富区民館

(5) 日本語フォローアップ講座

外国人に日本語を教えるボランティアの指導力を高めるため、フォローアップ講座とステップアップ講座を開催しました。

①フォローアップ講座
24年度養成講座修了者対象
日　　時　平成24年９月～平成25年３月　全12回（24時間）
受講者　延　143名
講　　師　西川寛之（明海大学外国語学部講師）
場　　所　協会講習室

②ステップアップ講座
日　　時　平成24年６月～平成25年３月　全７回（14時間）
受講者　延144名
講　　師　（公益社団法人）国際日本語普及協会（AJALT）講師
場　　所　協会講習室

(6) ボランティア活動支援

①研修会

協会登録ボランティアの活動強化、ボランティア間並びに協会との連携強化等を図るため研修会を開催しました。

日　　時　平成25年３月２日（土）　午前11時～
会　　場　女性センター「ブーケ21」
講　　演　「誤解はどうして生まれるのか？　ゲームを通して見る異文化」
講　　師　竹内　真澄（明海大学非常勤講師）
参加者　ボランティア　19名

②ボランティアの派遣・活動
- 通訳ボランティア等　延６名

(7) 姉妹都市親善写真展

中央区とサザランド市が相互の写真を交換し、25年２月に区役所１階ロビー、日本橋区民センターロビー、月島区民センターコミュニティフロアで順次開催しました。

(8) 外国客船歓迎式

東京港晴海埠頭に着岸する外国客船入港時の歓迎行事に参加し、記念品を贈呈。

入港数　３隻（初入港１隻、再入港２隻）

(9) 国際交流推進事業助成

区民が主体となって行う国際交流事業の実施に際して後援するとともに、その活動に要する経費の一部を助成しました。

件　　数　後援２件（うち助成２件）

※個人情報の保護に関する規定に基づく平成24年度の請求等の実績はありませんでした。

平成24年度決算

＜収入＞

科目	決算額（円）	説明
事業収入	1,475,500	古典芸能鑑賞会、コンサート参加費
区補助金	88,358,000	中央区からの補助金
寄付金	100,000	東京銀座ロータリークラブからの寄付金
雑入	5,152	預金利子
収入合計	89,938,652	

＜支出＞

科目	決算額（円）	説明
事業費	45,996,111	
文化振興費	41,366,324	中央区まるごとミュージアム、機関誌発行、古典芸能鑑賞会、コンサート、文化講座，文化推進事業助成
国際交流振興費	4,629,787	国際交流のつどい、日本語教室、国際交流サロン、日本語指導者養成講座、姉妹都市親善写真展
管理費	36,061,742	
人件費	32,234,448	職員の給与
管理運営費	3,827,294	理事会、事務費
予備費	0	
合計	82,057,853	
区返還金	7,880,799	中央区補助金の精算返納
支出合計	89,938,652	

国際交流のつどい2013

International Exchange Party　国际交流聚会　국제교류모임

11/16 (SAT) 12:00 ～ 16:00

11月16日（土）、築地社会教育会館にて「国際交流のつどい2013」を開催しました。当日はたくさんの方々においでいただきありがとうございました。毎年行いますので、ぜひ来年もご参加ください。



●スリランカミルクティー
Sri Lankan Milk Tea
斯里兰卡牛奶茶
스리랑카 밀크티

●日本の料理・インドカレー
Japanese foods and Indian Curry
日本菜和印度咖喱
일본 요리, 인도 카레







●和太鼓ワークショップ
Taiko (Japanese Drum) workshop
日本大鼓体验
일본 북 워크샵



●墨絵
Sumie Ink Drawing
水墨画
묵화

●サザランド市紹介
Sutherland Shire Corner
萨瑟兰市介绍
서더랜드시 소개 코너

●サルサダンス
Salsa Dance
新拉丁舞
살사 댄스

●盆おどり
Japanese Bon Dance
于兰盆会舞
봉오도리



●折り紙
Origami
折纸
종이접기



●日本の遊び･外国の遊び
Japanese Games・Foreign Games
日本的游戏・外国的游戏
일본의 놀이･외국의 놀이

●日本語何でも相談
Japanese language help
任何有关日语方面的事都请来商量
일본어 뭐든지 상담

●防災コーナー
Disaster Prevention
防灾服务台
방재 코너

●風呂敷
Furoshiki Wrapping
日本包袱布
보자기

●着付け
Kimono Etiquette
试穿和服
기모노

●国際交流サロン（エア書道体験）
International Exchange Salon (AIR SHODOU Experience)
国际交流沙龙（AIR书法体验）
국제 교류 살롱 코너(AIR서예 체험)

●呈茶・茶道体験
Tea Ceremony and Experience
茶道体验
다도체험





●生け花
Flower Arrangement
插花
꽃꽂이

●ブラジルダンス
Brazilian Dance
巴西舞
브라질 댄스

●サリー着付け体験
How to put on a SARI
莎丽服穿着体验
사리 입기 체험

●サリーの展示
Display of a Sari
莎丽服展览
사리 전시



表紙　**銀杏八幡宮**　小川幸治

蛎殻町、人形町辺りを歩いていると、小ぢんまりとした神社に出会う。
新大橋通りに面した銀杏八幡宮も近所の人たちによって守られてきた。
朝には落ち葉を掃き清める音が聞こえる。

特集記事は、昨年度の文化講座で行いました「平家物語」に関連して特集いたしました。
「中央区まるごとミュージアム2013」は第６回目となり、本年もたくさんの方々のご参加をいただきありがとうございました。
「国際交流のつどい」は11月16日に実施しました内容です。

役員名簿（平成２５年７月８日理事会で選任された新役員です）

理事長	古屋　勝彦	東京商工会議所中央支部顧問
副理事長	小泉　典久	中央区副区長
理　事	細田安兵衛	中央区観光協会副会長
〃	重盛　永造	中央区商店街連合会会長
〃	水野　雅生	中央区工業団体連合会会長
〃	三田　芳裕	元中央区文化振興懇談会副座長
〃	八代　元行	東京日本橋東ロータリークラブ会長
〃	秋本由紀子	東京銀座ライオンズクラブ元会長
〃	中村　源吾	京橋地域町会連合会会長
〃	安西　暉之	日本橋地域町会連合会会長
〃	滝浪　　誠	月島地域町会連合会会長
〃	小畑　栄三	中央区文化連盟会長
〃	百瀬　修至	中央区体育協会理事長
〃	森田　潤一	中央区ＰＴＡ連合会会長
〃	菅　英二郎	東京青年会議所中央区委員会委員長
〃	齊藤　　進	中央区教育長
〃	中島　　毅	中央区企画部長
〃	浅沼孝一郎	中央区区民部長
監　事	神谷　聖子	中央区女性海外研修者の会元会長
〃	平沢　康裕	中央区会計管理者

発行／中央区文化・国際交流振興協会　〒104-0041 東京都中央区新富1-13-24 新富分庁舎3F　TEL 03-3297-0251 FAX 03-3297-0253 URL: http://www.chuo-ci.jp/